

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		景観まちづくり推進					所管	都市づくり部 建築課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	203	計画事業名	景観まちづくり推進			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 44 地域の特性を活かした景観の形成					[事業開始] 平成14年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		景観法 台東区景観条例					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民・事業者(公的機関を含む)台東区全域 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	区民及び事業者と協働して、それぞれの地域の個性を活かしながら、新たな都市景観を創出し、調和の取れた潤いのある景観まちづくりの推進を図る。								
	事業内容 [H30年度]	①景観条例に基づく事前協議の受理及び助言、指導324件②景観法に基づく届出の受理 200件③景観重要建造物・景観重要樹木の指定標識作成 ④景観ふれあいまつりの開催 ⑤景観審査委員会の開催1回 ⑦ 景観アドバイザー会議の開催46回								
	委託の有無	なし	委託内容		なし					
	補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	景観事前協議件数	件	300	304	309	324	300	108.0%	
	成果指標	景観事前協議が成立した割合	%	95.0	95.0	95.0	100.0	95.0	105.3%	
	決算額 (単位:千円)				H28年度	H29年度	H30年度			
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				18,351	5,028	17,633		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				5,968	322	921		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				1,993	63	2,064		
		総経費				26,312	5,413	20,618		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0				
一般財源(区負担額)				26,312	5,413	20,618				
課題及び今後の進め方	景観に対する区民意識をさらに高めるため、地域の景観資源の活用を検討する。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	区内の良好な景観を守るとともに新たに良好な景観を創出するため、景観事前協議等の景観誘導のための方策を活用しながら、地域の個性を活かした良好な景観形成を推進していく必要がある。							
	効率性	3	景観協議に関連するみどりの条例、大規模建築指導要綱の事前協議を同一係で行うことにより、協議もれなどもなくなり、効率的に指導を行うことができた。							
	手段の適切性	4	客観的な判断が必要となる景観協議を景観審査委員会、景観アドバイザー会議等の意見を聴取することにより適正な運用ができています。							
目的達成度	4	景観まちづくりを推進するために、事前協議による継続的な誘導を行うとともに、景観ふれあいまつり等の啓発活動に力をいれている。								
〔総合評価〕 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を翌年に控え、国内、国外を問わず、来街者の増加が見込まれる中、地域の特性を活かした適切な景観整備が望まれており、今後も引き続き、効率的に景観まちづくりを進めていく。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		